

2024年1月4日

西本 麗 社長 年頭あいさつ（要旨）

当社の事業環境は、ロシア・ウクライナ紛争の長期化、米中関係緊張化に加えて、イスラエル・ハマスの衝突が生じ、国際政治の不安定化が続くとともに、原材料価格の高騰による世界的なインフレの加速、不安定な為替の動向などに見られるように、国内外における経済の先行き不透明感が強まっている。こうした中、当社は売価是正、拡販に注力するとともに、一層のコスト削減にも取り組み、全社を挙げて収益確保に努めてきたが、上期の業績は前年に比べて大幅な減収減益となり、厳しい状況が続いている。

2023年度最後の四半期に入ったが、需要回復が想定以上に遅れている中、新規用途開拓等による販売数量増や合理化によるコスト削減など、予算目標達成に向けて全社一丸となって取り組むとともに、安全の取り組みや設備保守点検の強化、若手の育成など当社の足腰を鍛える諸取り組みも、積極的に推進していく。

昨年は、資本コストや人的資本という視点で経営を考える必要があることを改めて強く意識させられた。引き続き、全社的にROIC改善の取組み、人的資本経営を一層推進していく。

短期的には厳しい状況が続くが、CO2吸収剤用アミン化合物など、将来に向けて新しいチャンスも出てきており、アミン化合物の開発や供給を通じてカーボンニュートラルへの貢献のチャンスは是非つかみたい。また、有機金属触媒も新規製品の開発が進んでいる。製販研と間接部門が一致協力して様々な課題にチャレンジして当社の将来を切り拓いていくことに大いに期待している。

KOEI VISION 2030に向けて、私たちに必要なのは、我々自身を現状安住・前例重視の「固定マインドセット」から「成長マインドセット」にリセットし、「能力は向上すると信じる」ことだと考えている。そのために、①「失敗」とは「学んで成長する機会」と考えること、②「フィードバック」を「成長の機会」「新たなシステムを創造する機会」ととらえること、③「障害」を「実験し挑戦し、問題を解決できるようにする機会」ととらえ、いつも難しいことに挑戦し、努力することで成長することが重要である。これから、当社でも会社と個人の成長を実現できるような様々な取り組みを行っていく。

以上